



この頃またコロナに感染する人の数が増えてきましたね。みなさんもいろんな不安をかかえているのではありませんか？校長先生も同じです。これはコロナウイルスという**病気**の怖さが、みんなの**不安**を呼び、その目に見えない不安をなくそうと、コロナにかかってしまった人や受け入れてくれている病院など、目に見えるものを嫌がったり、遠ざけたり、うわさを広げたりする**差別**を生み出しているからです。そして熱が出たり体調が悪くなったことを言い出しにくい空気にしてさらに感染を広げてしまう**病気・不安・差別の3つの感染症**があるからです。今日はこの**3つめの感染症「差別」**をなくすためにお話をします。

いまからみんなに2つ質問します。考えて下さい。

もし、みんながお休みして次に学校に来たとき、こんなことを言われたらどう思いますか？

「あいつ、コロナでやすんでたんだって。」

「何で休んでたん？コロナにかかったん？近よらんところ」

「臨時休業なって、クラブできへんのあいつのせいかもしれへんで」

こんなこと言われたらどうですか？つらいですね。学校に来たくなくなりますね。

コロナに自分がかかっても、家族がかかって濃厚接触者になっても、こんなこと言われたら、本当に苦しいです。心にとても傷が付きまます。

これは差別です。偏見です。こういうことを平気で言ってしまうたり、陽性になった人を探したりそんなことをしていませんか？こんな情けないことがいように、しっかりと、今、考えてほしいと思っています。

特に、今は濃厚接触者といわれて、保健所から「学校に行っていていいですよ」と言われるまで、自分がコロナにかかっているなくてもお休みしないといけないときもあります。

「何で休んでたん？」と聞かれても、答えにくいときがいっぱいあります。それは、聞いて欲しくないですね。

では2つめ、みんながお休みして次に学校に来たとき、周りの人がなんて言ってくれたらうれしいですか？

「元気になったんだね。」「心配してたんだよ。」「待ってたよ。」

「勉強はここまで進んだよ」「ノートみせてあげるよ」「教えてあげるよ」

なんて言ってくれたら、うれしいなあ、みんなあったかいなあと思います。

新型コロナウイルスは誰がかかってもおかしくない病気です。いつ、自分がかかる

かわかりません。だからこそ、もしかかった人がいたとしても、それで休校にな

ったりクラブができなくなったとしても、ひどいことを言ったり、嫌が

たり避けたりせずに、ふつうにいっしょに遊んだり、勉強したり、話を

してほしいです。

そして、もしお休みした後、つらいことを言われたり、されたりしたときは、か

ならず先生やお家の人に相談してください。辛い思いやしんどい気持ちを

我慢しないでいいです。そんなときは担任の先生も保健室の先生もどの先生もしっかり話を

聞いてくれます。

また、周りで差別する言葉や行動に気づいたら、「それはだめだよ。差別だよ。」と言ってあげ

るか、先生に教えて下さい。不安や恐れにふり回されないために、「うわさ話を広げない」

差別や偏見を広げないために、「言っちゃだめだよ。傷つく人がいるよ。」と声かけてくれる桜

台中学校のみなさんであってほしいです。それでは、担任の先生と、「新型コロナウイルス

感染症による風評被害を出さないで」を確認してください。

(7/12 朝の全校放送)

不安やおそれに振り回されないために

自分や大切な家族が、うわさや差別をされたらどう思いますか？



差別や偏見を広げないために

